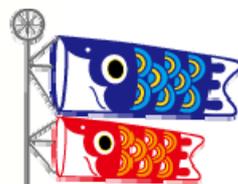


# 川上ダム通信

2013  
5  
月号



Vol. 92  
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



## 工事現場を見学していただきました

3月16日(土)快晴のもと、事業説明会と現場見学会を実施しました。

午前は、ダムの南東部に位置する種生区<sup>たなお</sup>の住民の皆さん19名を対象に、付替県道青山美杉線の北野トンネルと貯水池横断橋(猫また大橋)工事の2ヶ所を見学していただきました。

午後は、ダムの北東部に位置する上津地区<sup>こうづ</sup>住民自治協議会と伊勢路区の各役員の皆さん15名を対象に、トンネル、橋に加えてダム建設中に川の流れを迂回させる仮排水路トンネル(完成済)の3ヶ所を見学していただきました。



仮排水路トンネル内で堅固な岩盤の説明を受ける皆さん

トンネル見学では、暗闇の中を懐中電灯で照らしながら歩いていただきました。ダムに水を貯める前にふさいでしまう箇所での説明に、皆さん熱心に耳を傾けておられました。貯水池横断橋工事の見学では、工事で実際に使用されている部材を目の前で見ながら、その部材が橋のどこにどのように使われているのか具体的な説明を受けていただきました。

中には橋の構造などに非常に詳しい方もおられ、構造やそれら部材の仕組みなどへの質問が相次ぎ、非常に興味深く見学されていました。

今後ご要望があれば事業説明会や現場見学会を実施させていただきますので、是非川上ダム総務課までご連絡下さい。

引き続き、地元の皆さんからの率直なご意見などをいただきながら、工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。



貯水池横断橋工事の見学



部材の説明に熱心に耳を傾ける皆さん(貯水池横断橋工事)

【第二用地課 中村利行】

# 貯水池横断橋の中央部がつながりました

## 付替県道青美線貯水池横断橋（猫また大橋）工事

横断橋工事の進捗状況をご報告します。

平成24年3月12日にP1橋脚からの張出工の1ブロック目を打設してから、約1年1ヶ月かけて平成25年4月8日、P1橋脚とP2橋脚が中央部でつながりました。現在は両端の橋台を施工中で、年内には橋全体がつながる予定です。



中央部（橋の内部）コンクリート打設前



中央部（橋の内部）コンクリート打設後

鉄筋の部分にコンクリートを打設してつながりました

【工事課 溝尾邦男】

# 工事跡地への植栽を実施



植栽の様子



苗木を育てています（育苗地）

川上ダムでは、環境保全への取り組みのひとつとして、工事跡地のうち比較的傾斜の緩やかで植栽可能な場所には、工事前に採取した在来の樹木を用いた植栽を計画しています。

現在、川上ダムの育苗地では、コナラ、アカマツなどの苗木を育てています。最近も、育苗地で育てているアラカシやカエデなどの苗木約50本を工事跡地に植栽しました。

今後も、工事跡地に可能な限り苗木を植えるなどして、植生の復元に努めていくこととしています。

※育苗地：工事实施区域で採取した郷土種を育てる施設川上ダム建設所保有

【環境課 加藤正典】

# 川上ダム通信 編集部メンバー紹介

4月の人事異動により、川上ダム通信編集部はメンバーが一新しました。今年度も工事や環境に関する情報や地域の話題などタイムリーでわかりやすい情報をお届けしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。  
【総務課 湯本洋】



## 環境用語集 #12 …PM2.5…

環境用語集第12回目は、PM2.5について説明します。

PM2.5とは、大気中に浮遊している $2.5\mu\text{m}$  ( $1\mu\text{m}$ は $1\text{mm}$ の千分の1)以下の小さな粒子のことです。(PM: Particulate Matter: 粒子状物質)

PM2.5は非常に小さいため(髪の毛の太さの $1/30$ 程度)、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸系への影響に加え、循環器系への影響が懸念されています。

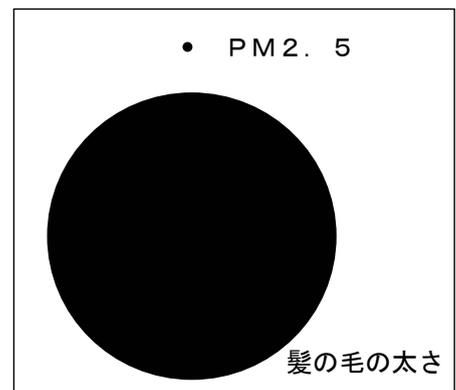
現在、大気汚染防止法に基づき、地方公共団体によって全国500ヶ所以上でPM2.5の常時監視が実施されています。

(引用: 環境省HP)

伊賀市でも観測機器による監視が行われており、三重県HPで数値を確認することができます。(伊賀市での観測地点は伊賀市立緑ヶ丘中学校です。)

最近ではPM2.5のような、ニュース等で聞き慣れない言葉が飛び交う頻度が上がってきたように思います。これからも読者の方々へそのような言葉に関する情報を提供してまいりたいと思います。

【前環境課 笹原智弘】



PM2.5のイメージ図

お詫び: 4月号の文章で誤りがありましたので訂正いたします。

#11環境用語集の中で、セイタカアワダチソウが花粉症の原因のひとつであるかのような表現がありました。花粉症とは無関係と考えられています。お詫び申し上げます。

# 伊賀市と川上ダムのつながり

2年連続で食味ランキング最高の「特A」評価を得た伊賀米。ブランド米としての地位は揺るぎないものですね。昔から伊賀は「水さえあれば良質の米が穫れ、しかも反収の高さを誇りうる地域」と言われてきました。

「水さえあれば」の字句のとおり、実は、伊賀地方は水に恵まれていません。津地方気象台によると伊賀地方は「年降水量は1,300~1,500mmで県内で最も雨の少ない地域」とされるほど雨が少ないのです。また、山は低く保水力に乏しいため、稲作のためにたくさんの溜池が築かれてきました。伊賀地方には三重県内約3,500ヶ所の溜池のうちその4割にあたる約1,400ヶ所もの溜池が集中しているのは先人達の労苦の現れです。

伊賀地方の旱害史を遡ると、戦国時代の慶長水論や江戸時代の旱害の記録を見つけることができます。近代に入っても明治16年、19年、26年、27年、大正2年、11年、12年、13年、昭和2年、14年、17年、19年、22年、23年、24年と旱害は治まりません。中でも明治16年は作付けの5月から120日もの長い間にわたって旱天が続き農作物の収穫は皆無。その後の台風と餓えで200名以上もの人々が命を失っています。また、こうした干ばつ時には火事があっても水が無いので消火活動もできなかったとの記録もあります。

困窮した人々は神仏に雨を乞うしかありませんでした。鞍田にあるその名も「雨乞山」や、山田・友生、<sup>ともだ</sup>法花の「竜王山」などでは、火を焚いて雨乞祈願が行われてきました。

こうした旱害は、近代になって大規模な溜池やダムが建造されたことにより、ようやく落ち着きを見せています。このように、伊賀は昔から水の確保に苦勞してきた地域であり、水道用水についても、沢水や老朽化した井戸などの不安定な水源から供給しており、安定した水源の確保が重要な課題でした。

一方、青山地区を流れる木津川はどうでしょう。青山町史によると「明治以来記録に残るような旱害は起こっていない」とされています。また、青山地区の溜池の数も約50ヶ所と少なく、前深瀬川から新田水路により分水して導き名張市新田も潤しています。高尾の年降水量は全国平均に近い約1,700mmあり、伊賀地方の中でも比較的豊かです。この水を水道用水として川上ダムに貯え、ゆめが丘浄水場から伊賀市全域に安心・安全な美味しい水をお届けすることこそ、川上ダムと伊賀市の繋がりのなのです。



伊賀地方の旱害の歴史等が綴られた「伊賀地方5ヶ町村旱害史」(出典：三重県公式HP内「歴史の情報蔵」)

【前調査設計課 金山明広】

## 転出者と転入者のご紹介

### 転出者

所属	氏名	転出先
総務課長	大友義定	定年:シニアスタッフとして関西支社勤務(大阪)
総務課	金子吉彦	琵琶湖開発総合管理所(滋賀)
第一用地課	安田直人	朝倉総合事業所(福岡)
第二用地課	松高遵	出向:国交省総合政策局(東京)
調査設計課	金山明広	思川開発建設所(栃木)
調査設計課	本田真章	出向:国交省中部地整(愛知)
環境課	笹原智弘	豊川用水総合事業部(愛知)
工務課	鈴木和春	出向:国交省設案ダム工事事務所(愛知)
工務課	猿楽義信	定年:シニアスタッフとして川上ダム建設所勤務(三重)

### 転入者

所属	氏名	前所属
総務課長	梅村喜重	愛知用水総合管理所(愛知)
総務課	渡辺高志	本社(埼玉)
総務課	山下朋穂	池田総合管理所(徳島)
第一用地課	本山和良	朝倉総合事業所(福岡)
第二用地課	高橋宏行	関西支社(大阪)
調査設計課	本高和行	朝倉総合事業所(福岡)
調査設計課	遠本和也	本社(埼玉)
環境課	飯島芳則	国交省中部地整(愛知)
工務課	日隈晃輝	国交省四国地整吉野川ダム統合管理所(徳島)